ORIROグループ

セフティ垂直式救助袋

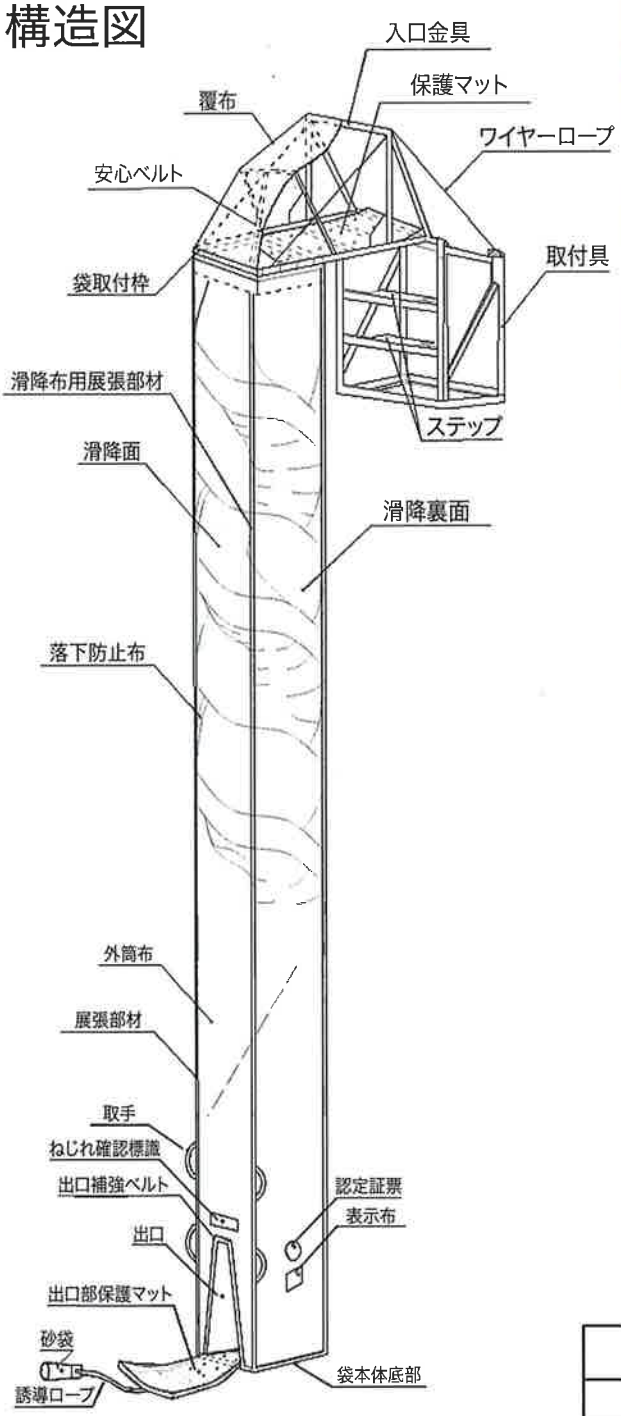
一般財団法人 日本消防設備安全センター
認定型式番号　ふV - 005号（WA型）
ふV - 005-2号

ISIKAWASYOKO.CO.,LTD.

垂直式救助袋（WA型）

一般財団法人日本消防設備安全センター
認定型式番号　　ふV-005号
　　ふV-005-2号

構造図



特　長

1）強くて、軽い

ポリエステル特殊加工帆布を使用し、従来の袋より約2倍の強度を保ちます。軽量のため、ひとりでも操作可能です。

2）安全と安心感

らせん階段式に滑降面を設け、5本の展張部材(ベルト)で荷重を保時。外界が見えず、恐怖感なく安全に降下できます。

3）降下速度が一定

滑降面がらせん形状で角度が一定のため、降下速度も一定し、連続降下にも十分耐えられる構造です。

4）操作が簡単

操作は上部のみ。地上の固定環を必要とせず、直接着地できます。

5）狭い場所でも避難可能

垂直に袋を吊下げるので、狭い場所でも設置可能。

垂直式救助袋の構造

従来の垂直式救助袋を、一定の速度で安全に降下できるように改良したのが、セフティ垂直式救助袋WA型です。袋本体はらせん状に降下する滑降布を縫着した円筒形で、その中心部に1本、外周を覆う外筒布にも4本の展張部材を縫着。安全強度を確保した構造となっています。

	設　置　位　置			
	開口部の大きさ	操作面積	降下空間	避難空地
救助袋（垂直式）（避難器具用ハッチに収納したものを除く。）	高さ　0.6m以上 幅 0.6m 以上 h：開口部の下端は床面から 1.2m以下とすること。 ただし、避難上支障ないように固定又は半固定のステップ等を設けた場合はこの限りでない。	1.5m以上 1.5m以上 開口部 救助袋の設置部分を含み、幅1.5m奥行 1.5m以上とすること。 なお、特に操作に支障のない範囲で、2.25 m²以上の面積で形状を変えることができる。	壁面 1.0m以上 1.0m以上 1.0m以上 H 救助袋と外壁の間隔は 0.3m以上（外壁にひさし等の突起物がある場合は、当該突起物の先端との間隔は 0.5m以上。ただし、突起物が入口金具から下方3m以内の場合は、0.3m以上。）	器具取り付け枠 0.3m 以上 1m以上 降下空間の水平投影面積以上とする。
備考	1　降下空間、避難空地を共用して器具を設ける場合は、器具相互の外面を1mまで接近させることができる。 2　下部で入口部と降着面等との間隔（H）は、0.5m以下であること。			

垂直式救助袋取扱説明

①格納箱を取り外す（分解型）

1. 上ぶたの両側についている止め金具をはずし①、取手を持って上ぶたを取りはずす。②
2. 前板の両側についている止め金具をはずし③、取手を持って前板を取りはずす。④
3. 救助袋の取り付けてある開口部の窓、カーテン、ブラインド等を完全に開放する。

！ 注意ー●格納箱の止め金具に指をはさまないようにすること。指等に、ケガをする恐れがあります。

（手前引き型は、取手を持って手前に引き、取り除く。）

！ 注意ー●手前に強く引くと倒れることがあります。

②バンドを引き、砂袋を投げる

1. 袋本体を締めてあるバンドを手前に引きバンドを解く。①
2. 誘導綱の先端に付いている砂袋を地上に投下する。②

！ 注意ー●誘導綱の輪がもつれてないか確認する。
●砂袋を投下する時、ひさしや、階下の屋根等の障害物がある場合は、引っ掛からないようにすること。砂袋が途中で引っ掛かると袋の展張ができません。
●地上に人がいないことを確認すること。地上に人がいる場合は、注意して砂袋を投下すること。

③袋本体を降ろす

1. 袋本体を先端から徐々に地上に降ろす。①

！ 注意ー●袋本体を降下させる時、障害物などにより途中で静止した場合は袋本体を引き上げ、降ろし直すこと。
●袋本体を降下させる時にサッシの角、止め金具等の障害物に引っ掛からないようにすること。袋本体が損傷を受けることがあります。

！ 警告ー●袋本体が途中から自重で急速に落下することがありますので、手や衣服等を巻き込まれないこと。転落等のおそれがあります。

④入口金具を回転させる

1. 袋本体が降下し終ったことを確認する。①
2. 入口金具の両側のワイヤロープ2本を持つか④、または入口金具の下端部分のパイプを持って回転させる。②
3. 入口金具の2段、3段とアームを伸長する金具は、折りたたんだままの状態にて回転させる。③

！ 注意ー●入口金具を回転する時、指や衣服等を巻き込まれないこと。ケガの恐れがあります。
●伸張させた状態で回転させると開口部上端に当たり回転できません。

4. 入口金具が一定の所で静止した状態で両側のワイヤロープ2本が正常に展張されているか確認する。④
   2段、3段とアームを伸長する金具で、入口金具の上端部にバンドのついているものは、バンドを引く。入口金具の内部よりアーム（支持枠）を伸長させ全体が正常に伸長されているか、内側、外側より確認する。

！ 注意ー●正常に伸長されていないと降下できません。

⑤降下する

1. 取付金具に設けられているステップを手前に倒す①
2. 入口枠の上端を持って足より入り、正面にある安心ベルトを持って両足を揃えて降下姿勢をとる。②

！ 警告ー●降下者は、頭から袋の中に絶対に入らないこと。頭から地上に着地するため大変危険です。

！ 注意ー●袋の中にいきおいよく入らないこと。加速がつき出口で飛び出すことがあります。
●入口金具の入口部で立ち上がらないこと。立ち上がると開口部の枠等で頭を打つことがあります。

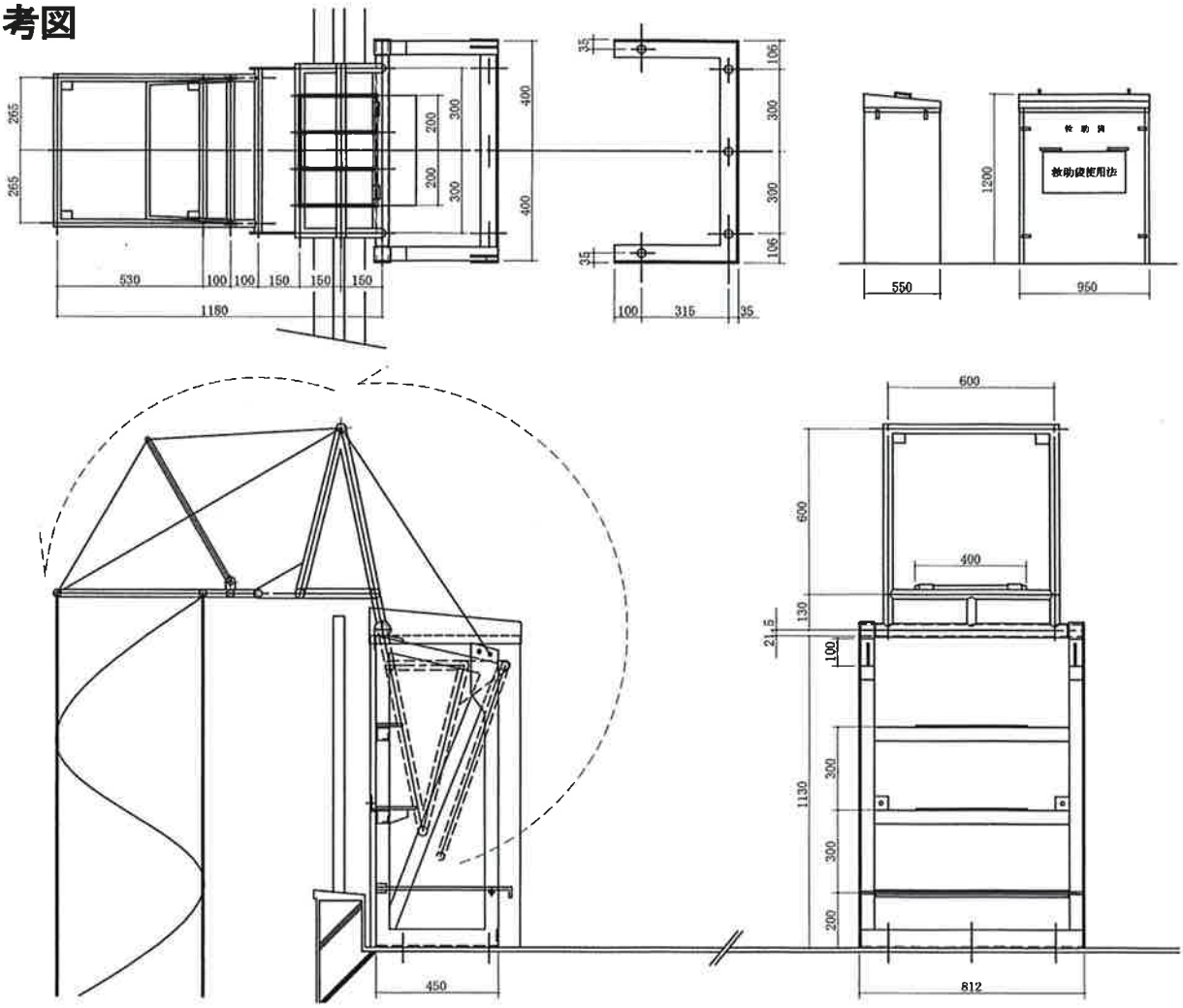
⑥降下姿勢

1. 降下中、両手を上に上げて右ひざを内側に心持ち曲げ、背中および腰部で滑り降りる。

！ 警告ー●降下中は、腕や足を急に広げたり、突っ張ったりすると、急ブレーキがかかり、袋の中で回転する恐れがあるので絶対にしないこと。

！ 注意ー●降下中、袋本体布との摩擦により手や肘等にすり傷を受けることもあります。訓練などで使用する場合は、長袖、長ズボン、手袋等を着用すること。

参考図



垂直式救助袋の主要材料

袋本体

名称	品名	規格
外筒布	ポリエステル4号	引き張り強さ　タテ、ヨコ1,000N/3cm（100kg）以上
滑降面	ポリエステル5号	引き張り強さ　タテ、ヨコ800N/3cm（100kg）以上
金具覆い布	ポリエステル4、5号	引き張り強さ　タテ、ヨコ800N/3cm（80kg）以上
展張部材	ポリエステルベルト	引き張り強さ　8,900N×5本（890kg）

取付具

名称	品名	規格
取付金具	鋼材	L-50×50×6、L-65×65×6、□-50×50×2.3
入口金具	一般構造用鋼管	27.2φ×2.8、34.0φ×3.2、42.7φ×3.5

格納箱

名称	品名	規格
鋼板	ボンデ鋼板　1.2mm	粉体焼付塗装仕上
	ステンレス鋼板　1.2mm	ヘアライン仕上
把手		スチール鋼クロームメッキ

その他

名称	品名	規格
縫糸	ナイロン、ポリエステル	#5、#0
誘導ロープ	PPマルチフィラメント	16打、6φ、オレンジ
吊りロープ	ワイヤロープ	6φ、8φ、10φ、12φ
保護マット	フェルト	10mm以上
取手	ナイロンベルト	50×2

販売店

ORIROグループ
石川商工株式会社

本社
〒104-0042
東京都中央区入船1丁目9番12号
ＴＥＬ：03-3551-9596 / FAX：03-3551-5787
ＵＲＬ：http://www.isikawasyoko.com
e-mail：info@isikawasyoko.com

草加工場
〒340-0002
埼玉県草加市青柳1丁目6番23号
ＴＥＬ：048-935-1507 / FAX：048-931-9009

2017.07　改訂版